

政文研だより

発行 2024.2月

一般社団法人
神奈川政経文化研究会

【活動予定】

4月に勉強会を予定しております。
詳細が決まり次第報告致しますので、ご参加いただきたいと思います。

【活動報告】

2月 政文研だより20号発行

※5月に、継続のお願いの便りをメールにてご連絡いたしました。
会費のお支払いがまだな方はどうぞよろしくお願い致します。



【地域の情報】 おむすび、多世代地域食堂

本日は、大磯町にあります、東光院隣の空き家に人の縁をおむすび多世代地域食堂を紹介させていただきます。（孤食から縁食へ）



東光院大澤曉空住職が、「同じ釜の飯を食う」ことで助け合いの土壌ができるそんな食堂をつくりたい、共食から一歩先へ、縁を紡ぐ縁食をひろげたいと、誰もが利用できる多世代食堂を開設しました。

多世代食堂は、家族のご事情で夜ご飯を1人で食べる子ども、つれ合いを無くされ孤食になってしまった高齢の方、一人暮らしで、にぎやかな食卓が疎遠な若者が、みんなで作って、みんなで食べて、みんなで片付け。

子どもも大人も高齢者も分け隔て無く、誰もが自由に立ち寄れる場所です。

共食（誰かと一緒に食事をする）が多い人や孤食が少ない人は、そうでない人と比較して、小学生対象の研究では疲労感や不調がなく、健康の自己評価が高いことが報告され、中学生を対象にした研究では心の健康状態がよいことが報告されています。うつ病や認知症のリスクを下げると言われています。

※食堂で利用している食材は、お寺へのお布施はお米でもらい、地元農家がわけてくれた野菜や、週2日定置網の手伝いをしていることでもらってくる市場に出回らない魚などを使用しています。



東光院

〒255-0003

神奈川県中郡大磯町大磯1525

（24時間）TEL. 0463-63-0099

FAX. 0463-61-2121

代表理事挨拶

会員の皆様いつもありがとうございます。

2月になりました。如月になります。

皆様もご承知のとおりですが1月1日の元旦に能登半島を震源地にする大規模な地震が発生しました。この地震災害により被災され、また犠牲にもなられた方々に心からお見舞いと哀悼の誠を捧げます。

この日本は世界有数の災害国家であります。日本人の民族性や文化力の高さはこの自然災害と向き合い、この地で生き抜いてきた事に起因すると常に考えております。

被災地の能登半島では現在も復旧作業を全力で行っています。このような災害と向き合う経済人の気構えとして何が必要か、当会においても勉強会などを行なっていくと企画しています。

また、日本人の文化力の高さや、緑と水の国である日本を世界の人々に知ってもらい、文化融合を目指していけたら、新しい世界観の創造もできるのではないのでしょうか。

世界は不安と恐怖だけでは有りません、希望と光にも満ちています。私たち一人一人の力は小さくとも、沢山の人の力を集められたら、それは大きなうねりとなり人々に笑顔と希望を与えられるでしょう。今年も会員の皆様と共に成長していきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願いします。

【今月の名言】

「私たちは社会のために常に新しいことに挑戦し、新たな価値を創造しつづけます。」

すべては家族のために。すべては地域のために。

すべては祖国のために。すべては世界のために。

今月も皆で健康で豊かな人生を歩んでいきましょう。

令和6年如月

一般社団法人
神奈川政経文化研究会
代表理事 今村佳広



龍城ヶ丘公園 整備完成来秋の見通し



龍城ヶ丘プール跡地（龍城ヶ丘）の公園整備計画について、平塚市は1月24日、着工に向けた事業者との実施協定締結期限を3カ月延期し、公園の完成が半年遅れの2025年秋ごろとなる見通しを発表した。物価高騰で建築資材などが値上がりし、事業費の見直しが避けられないことから市と事業者間の協議で決めた。実施協定締結期限の延期は3度目で、開業は当初の計画から2年半以上遅れることになる。

実施協定の締結は今年3月末の予定だったが、ロシアによるウクライナ侵攻などの要因で物価高騰が続き、建築資材の仕様変更などを迫られたため6月末までに延期する。着工は7月となる見通し。

建設業界では今年4月から「4週8休」制度が導入されることから工期も伸びるとし、公園の開業予定日は25年春から約半年遅れの同年秋になるという。落合克宏市長は「今年の7月にはしっかりと形を決めて着工し、来年秋の完成に向けてしっかりと進めていきたい」と語った。

同計画をめぐっては、塩・風害調査や開発地にある樹木の保全を検討する目的で、実施協定締結期限を21年12月末から22年6月末に延期。その後、従来のプランに交通対策上の懸念点があるとして、施設配置などを見直すために同期限を今年3月末に再延期した経緯がある。

編集後記

今号も、お読みいただきましてありがとうございました。

春は、異動、入社、退職、お子様の卒業、入学など、ご自身をとりまく環境が大なり小なり移り変わっていく、出会いと別れの時期ですね。喜びや、悲しみ、期待、寂しさなど、感情や生活のリズムが中々追いつきませんが、新しい生活、新しい関係を築きあげていくのはじまりとも思えます。

そして、日本の春といえば桜ですね、2月中旬頃から咲き始める河津桜をス、タートに、3月上旬頃はオカメザクラ、寒緋桜、3月下旬頃はソメイヨシノ、大島桜、4月上旬頃は鬱金、御衣黄、関山と、4月上旬頃まで次々と開花のリリースを楽しめます。

4月に、対面での勉強会を開催したいと思っております。詳細決まり次第ご案内しますので、多くの方にご参加いただきます。よろしくお願ひいたします。寒暖差で体調崩しませんよう、くれぐれもご自愛ください。

一般社団法人
神奈川政経文化研究会
事務局 山口 尚子



第21号政文研だより
お楽しみに♪